

2018年度 秋学期

第28回
高槻ミュージズキャンパス

公開講座

地震が再びきても大丈夫？
～大阪北部地震の経験から～

定員

100名

受講料

500円
(資料代)

対象

一般市民

関西大学社会安全学部は設立9年目となり、
高槻ミュージズキャンパス公開講座も今回で28回目となりました。
今回は「地震が再びきても大丈夫？～大阪北部地震の経験から～」を総合テーマに、
知られざる緊急地震速報の現状と今後の進化や、地震で壊れない構造物を作るための
「耐震設計」の基本的な考え方について解説します。
そして、なぜ地震による被害がなくなるか、現在の「耐震設計」による地震対策の
限界や問題点を踏まえて、これからの地震防災で考えるべき視点をお話します。

日時

2018年11月17日(土) 10:00～13:00
(開場・受付 9:30～)

会場

関西大学 高槻ミュージズキャンパス
西館 M602教室

大阪府高槻市白梅町7番1号

講座
1

知ってるつもり
の緊急地震速報

京都大学
防災研究所
助教

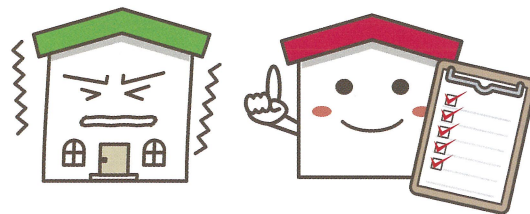
山田 真澄



講座
2

知ってるつもり
の耐震設計と耐震診断

関西大学 社会安全学部
教授 一井 康二



【主催】 関西大学 【後援】 高槻市、高槻商工会議所

講演

1

10:00
~
11:30

知ってるつもりの緊急地震速報

京都大学 防災研究所 助教 山田 真澄

テレビや携帯電話で受け取る緊急地震速報、聞いたことはあるけれど、その仕組みや精度はご存知でしょうか。緊急地震速報は、地震で揺れる直前に知らせてくれる有益な情報ですが、精度や猶予時間に限界もあります。また、その限界に立ち向かうべく、日々気象庁や研究者が努力を重ねています。本講座では、そんな知られざる緊急地震速報の現状と今後の進化を、深く掘り下げてお話しします。

講演

2

11:30
~
13:00

知ってるつもりの耐震設計と耐震診断

関西大学 社会安全学部 教授 一井 康二

2018年6月の大阪府北部地震では、不幸にして4人の方が亡くなりました。地震による建造物の被害を減らし、死傷者を少なくするにはどうしたらいいのか。今回の経験を踏まえて、これからも考えていかなければなりません。

本講座では、地震で壊れない建造物を作るための「耐震設計」の基本的な考え方について解説します。そして、なぜ地震による被害がなくなるのか、現在の「耐震設計」による地震対策の限界や問題点を踏まえて、これからの地震防災で考えるべき視点をお話しします。

※事情により内容に変更が生じる場合があります。

申込み方法

関西大学高槻ミュージズオフィス

電話またはインターネット専用ページでお申込みください。

◎ 電話：072(684)4000 (平日/10:00~16:00)

◎ 「関西大学社会安全学部」ホームページの「公開講座(第28回)開催のお知らせ」からお申し込みください。

(URL) http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

受付期間

2018年10月22日(月)~11月16日(金)

平日 10:00~16:00

※定員になり次第、申込み受付終了

受講料

500円 (資料代として当日、受付にてお支払いください)

お願い

- 車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。
- キャンパス施設内は、全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。

問合せ

関西大学 高槻ミュージズオフィス

TEL. 072(684)4000 [月~金 9:00~17:00]

会場

関西大学高槻ミュージズキャンパス 西館
M602教室



JR高槻駅から徒歩約7分

阪急高槻市駅から徒歩約10分